

第一回宇宙開発事業団評価委員会の開催について

平成10年4月8日

宇宙開発事業団

1. 開催目的 : 宇宙開発事業団は、今後の事業展開と業務改善に資するため、また、国民の理解と支持を増進するために、設立以来の活動及び成果並びに今後進むべき方向性について第三者を評価者とする厳正な評価を受けるための宇宙開発事業団評価委員会を設置した。当委員会に於いては機関評価を実施すると共に、下部委員会として5つの部会*を設け、当事業団の5つの事業分野毎の課題評価を実施する。
これに従って機関評価のための第一回目の委員会を開催する。
2. 開催日 : 平成10年4月13日(月)～15日(水)
3. 開催地 : 宇宙開発事業団 筑波宇宙センター 技術交流棟等
4. 評価委員会委員 : 資料1「宇宙開発事業団評価委員会委員名簿」参照
5. 記者会見の実施 : 資料2参照
6. 今後の予定 : ①今回の委員会の結果を受けて本年5～7月上旬にかけ、5つの部会を開催し、事業団個別のプロジェクト及び事業について評価を行う。
②第二回評価委員会を本年11月頃開催し、部会の評価結果を受けて事業団事業全体の評価を行う予定。

*5つの部会 : ①宇宙輸送部会
②軌道上技術部会
③地球観測部会
④宇宙環境利用部会
⑤技術研究部会

以上。

宇宙開発事業団評価委員会委員候補者一覧

1998.4.8 現在

		氏名（経歴、所属等）
評 価 委 員 会	委員 長	①近藤次郎（東京大学名誉教授、中央環境審議会会長、元学術会議会長） ② J-L. LIONS（仏、仏国科学アカデミー総裁、 元国立宇宙研究センター(CNES)総裁）
	海外	③ J-J. DORDAIN（仏、欧州宇宙機関(ESA)戦略局長） ④ E. C. ALDRIDGE（米、米国航空宇宙学会(AIAA)会長） ⑤ J.M. LOGSDON（米、ジョージワシントン大学 宇宙政策研究所所長）
	国内	⑥中原恒雄（住友電気工業（株）特別技術顧問） ⑦鳥井弘之（日本経済新聞社論説委員） ⑧久保田弘敏（東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授）
	課題評価部会 共同部会長	◇宇宙環境部会共同部会長 ⑨大橋秀雄（工学院大学学長、日本学術会議第5部長） ⑩ W. C. TRAFTON（米、インターナショナル ロンチ サービス社副社長、 前米国航空宇宙局(NASA)宇宙飛行局長） ◇宇宙輸送部会共同部会長 ⑪長洲秀夫（元科学技術庁航空宇宙技術研究所長） J.M. LOGSDON(⑤に同じ) ◇地球観測部会共同部会長 ⑫ 浅井富雄（千葉大教授、東京大学名誉教授、科学技術振興事業団研究 統括） ⑬ G. A. MCBEAN（加、カナダ環境庁次官補） ◇軌道上技術部会共同部会長 ⑭畚野信義（東海大学総合科学技術研究所教授、 （財）テレコム先端技術研究支援センター専務理事、 元郵政省通信総合研究所所長） ⑮ J. PELTON（米、コロラド大ボルダー校教授） ◇技術研究部会共同部会長 久保田弘敏（⑧に同じ） ⑯ S. L. VENNERI（米、米国航空宇宙局(NASA) チーフテクノロジスト）

* 日本人／外国人比＝8：8

宇宙開発事業団評価委員会取材機会について

第一回宇宙開発事業団評価委員会の開催に当たり、以下のとおり記者発表を行い取材機会を提供する。

発表スケジュール：

（4月7日（火）理事会報告（SAC資料配付事項案件））

（4月8日（水）宇宙開発委員会で資料配付）

4月8日（水）「第一回宇宙開発事業団評価委員会の開催について」

スケジュール、委員氏名、取材機会の案内

取材機会その1

4月13日（月）

9：20～9：50 共同記者会見

出席者：共同委員長、理事長*（*必要に応じて）

10：00～10：30 委員会の撮影（この部分は公開）

10：50～11：20 第2展示室の視察状況撮影

取材機会その2 委員の個別取材については会期中の空き時間等、委員と個別調整を行う。場合によっては共同取材となる。

以上